

他大学の学費との比較

質の高い専門科目や幅広い分野の教養科目、充実した施設環境に加え、公立短大ならではの学費設定も魅力です。
学費の負担が少ないので、安心して勉学に励むことができます。

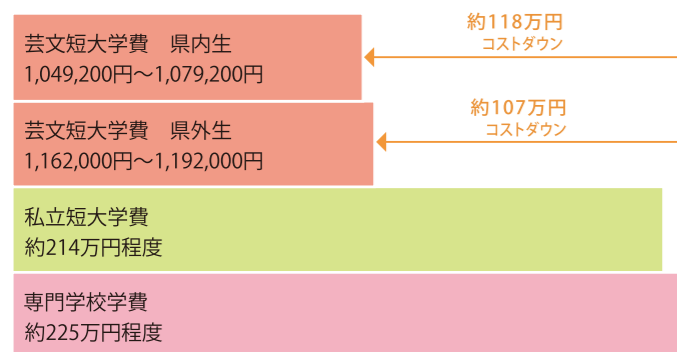
※芸文短大(大分県立芸術文化短期大学略称)

■芸文短大の入学年度の学費

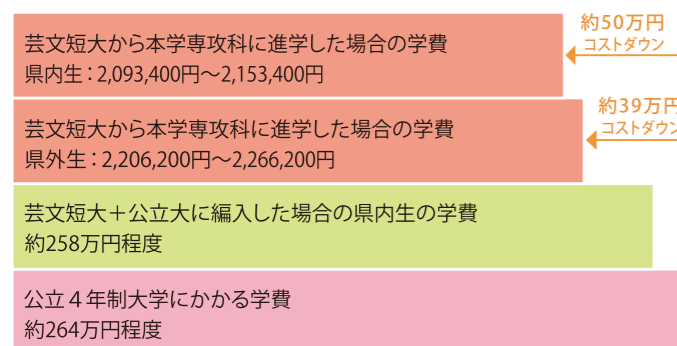


本学の入学年度の学費は、入学金と授業料及び諸費用の合計額です。授業料は県内生・県外生ともに年間390,000円です。(2020年度見込み)

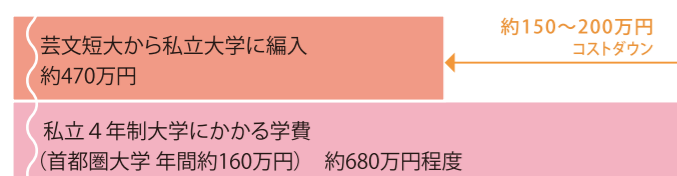
■芸文短大の2年間の学費



■芸文短大専攻科進学と他公立大学3年次編入など4年間の学費



■私立大学3年次編入と私立大学4年間の学費



※他大学の学費に関しては、平成28年度現在のもので、本学が独自に調査して平均値を算出したものです。

※専門学校の学費に関しては、(公社)東京都専修学校各種学校協会HP「平成30年度学生・生徒納付金調査(専門課程)」をもとに算出したものです。

美術科 入試ガイド

DEPARTMENT OF ART AND DESIGN

2020



美術専攻

Art and Design (Major in Fine Art)



平成29年度 入学試験過去問題

■デッサン (配点100点)

- ・木炭、鉛筆 (選択自由、併用可)
- ・木炭紙 (MBM) または木炭紙大画用紙
- ・試験時間: 3時間
- ・モチーフに触れてはならない
- ・イーゼルの位置は他の受験生の邪魔にならない範囲で動かしてもよい

問題

設定されたモチーフを素描として表現せよ。

■面接

■持ち込み作品3点 (配点100点)

- 条件: 試験当日、本人が持参可能で大きさは3辺の和が210cm以内とします。
- 持参不能の場合はポートフォリオでも可。
- デジタルデータは不可。
- また、持参作品は自らの責任で当日、搬入・搬出してください。

モチーフ



出題の狙い

床上に寄せられた物体の色、形、質等をよく見て、1つの素描作品とする解釈や造形のプロセスを見せていただく、ということでした。

参考作品



色や質感の違いを捉えた無駄のない描写、物の配置、方向性と余白の取り方など、作者のバランスのセンスが現れている作品です。

■彩画 (配点400点)

- ・水彩画/油彩画どちらかをひとつ選択
- ・キャンバス/水彩パネル (F12号)
- ・縦横自由
- ・試験時間: 6時間
- ・モチーフに触れてはならない
- ・イーゼルの位置は他の受験生の邪魔にならない範囲で動かしてもよい

問題

設定されたモチーフを彩画として表現せよ。

■筆記試験 (配点200点)

実技試験とは別に国語・英語の筆記試験があります。(各100点)

モチーフ



出題の狙い

入学前に学んでおいて欲しいことは数多くありますが、この出題は「モノと空間の関係」について直観的にどのように把握するのかを作品として答えて欲しい出題としました。

参考作品<油彩>



美術作品において「部分と全体」は非常に重要なテーマとなります。6時間という短時間でその問題についてどうモチーフを捉え、絵を造っていくのか。多くの「モノ」が点在するモチーフを「全体」で捉えていこうとする力を感じる作品です。

参考作品<水彩>



高い技術を持った作品ではありませんが、素直に実直にモチーフから感じたものを描こうとするフレッシュな作者の感動が伝わってきます。美術において大切なものは「技術ではない」ということを再認識できる作品です。

■デッサン (配点200点)

- ・木炭、鉛筆 (選択自由、併用可)
- ・木炭紙 (MBM) または木炭紙大画用紙
- ・試験時間: 3時間
- ・モチーフに触れてはならない
- ・イーゼルの位置は他の受験生の邪魔にならない範囲で動かしてもよい
- ・用紙は縦横自由

問題

設置されたモチーフをデッサンしなさい。

■小論文試験 (配点200点)

課題文を読んで自分の考えを800字以内の小論文にまとめるもの(90分)

モチーフ



出題の狙い

絵画・彫刻の基礎力を培う上で、石膏デッサンで学ぶことは数多くあります。入学前の基礎的な総合力を問うための出題としました。

参考作品



デッサンで学ぶべきことの重要な問いとして「量塊と空間の関係」があります。その観点からするとこの作品は入学後に学ばなければならないことが数多くあります。入試では作品を通して作者の可能性を判断しますので、その点において大きな期待値を持ったものとして評価しました。

平成30年度 入学試験過去問題

推薦入学試験

一般入学試験(A日程)

一般入学試験(B日程)

■デッサン (配点100点)

- ・木炭、鉛筆 (選択自由、併用可)
- ・木炭紙 (MBM) または木炭紙大画用紙
- ・試験時間: 3時間
- ・モチーフに触れてはならない
- ・イーゼルの位置は他の受験生の邪魔にならない範囲で動かしてもよい

問題

設定されたモチーフを素描として表現せよ。

■面接

■持ち込み作品3点 (配点100点)

- 条件: 試験当日、本人が持参可能で、大きさは3辺の和が240cm以内とします。
- 持参不能の場合はポートフォリオでも可。
- 記録メディアだけの提出は不可。
- また、持参作品は自らの責任で当日、搬入・搬出してください。

モチーフ



出題の狙い

鉄枠の台に乗せた「青年マルス」石膏像を2つ、反対方向に置いています。1つの形が違う角度でも同じ形に見えるように把握するか、そして画面にどう配置するか、ということが、このモチーフを見て感じられるように。イーゼルは周囲を囲む配置です。

参考作品



この作品は、後ろ向きの像が画面からはみ出ていますが、後ろや周囲の空間も意識して、安定感のある作品になっていると感じます。

■彩画 (配点400点)

- ・水彩画/油彩画どちらかをひとつ選択
- ・キャンバス/水彩パネル (F12号)
- ・縦横自由
- ・試験時間: 6時間
- ・モチーフに触れてはならない
- ・イーゼルの位置は他の受験生の邪魔にならない範囲で動かしてもよい

問題

設定されたモチーフを彩画として表現せよ。

■筆記試験 (配点200点)

実技試験とは別に国語・英語の筆記試験があります。(各100点)

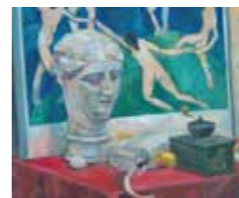
モチーフ



出題の狙い

腰高の台に赤い布、痘痕(あばた)のヴィーナス、ビニール傘、コーヒーミル、レモン、卵、後ろに壁に立てかけたマティスの「ダンス」のポスター。要素盛り沢山の、彩度の高いモチーフです。背景と物の関係やバランス、色彩感覚、描写力、形体の面白さの解釈など、それぞれの描き手のもっとも得意とするところを見せたいところです。

参考作品<油彩>



物の固有色や質感を適切な幅の調子で丁寧に描いています。

参考作品<油彩>



伸びやかな筆致で背景ともの、天井灯の写り込みまでを一体にすることができています。

■デッサン (配点200点)

- ・木炭、鉛筆 (選択自由、併用可)
- ・木炭紙 (MBM) または木炭紙大画用紙
- ・試験時間: 3時間
- ・モチーフに触れてはならない
- ・イーゼルの位置は他の受験生の邪魔にならない範囲で動かしてもよい
- ・用紙は縦横自由

問題

設置されたモチーフをデッサンしなさい。

■小論文試験 (配点200点)

課題文を読んで自分の考えを800字以内の小論文にまとめるもの(90分)

モチーフ



出題の狙い

与えられたモチーフを木炭または鉛筆で素描せよ、という出題です。「ギリシア女神大顔面」という半面の石膏像を壁際の腰高のテーブル上に設置しました。

参考作品



やや逆光気味の斜めの方向から丁寧に描き、この像の特徴もよく捉えています。

推薦入学試験

一般入学試験(前期日程)

一般入学試験(後期日程)

■ デッサン (配点100点)

- ・木炭、鉛筆(選択自由、併用可)
- ・木炭紙(MBM)または木炭紙大画用紙
- ・試験時間: 3時間
- ・モチーフに触れてはならない
- ・イーゼルの位置は他の受験生の邪魔にならない範囲で動かしてもよい

■ 問題

設定されたモチーフを素描として表現せよ。

■ 面接

■ 持ち込み作品3点 (配点100点)

条件: 試験当日、本人が持参可能で、大きさは3辺の和が240cm以内とします。持参不能の場合はポートフォリオでも可。記録メディアだけの提出は不可。また、持参作品は自らの責任で当日、搬入・搬出してください。

モチーフ



■ 出題の狙い

モチーフ台の上に制作用椅子と、それを囲む様にトイレットペーパーを置いています。それぞれの色や質感、方向性などを、的確に描写しているか、どの様に見て構図するか。

参考作品



それぞれの形や向き、重さの感じまでを、素直に見て描いています。

■ 彩画 (配点400点)

- ・水彩画/油彩画どちらかをひとつ選択
- ・キャンバス/水彩パネル(F12号)
- ・縦横自由
- ・試験時間: 6時間
- ・モチーフに触れてはならない
- ・イーゼルの位置は他の受験生の邪魔にならない範囲で動かしてもよい

■ 問題

設定されたモチーフを彩画として表現せよ。

■ 筆記試験 (配点200点)

実技試験とは別に国語・英語の筆記試験があります。(各100点)

モチーフ



■ 出題の狙い

壁際の床に設営しています。薄い半紙の上に、石膏の球体、ワインの瓶、色紙、コップとりんご。壁に立てかけた鏡が、それらと部屋の光景を映しています。複数の色や形、質感をバランスよく構図することなど。

参考作品



参考作品



モチーフの特徴や雰囲気をとータルに扱っています。

■ デッサン (配点200点)

- ・木炭、鉛筆(選択自由、併用可)
- ・木炭紙(MBM)または木炭紙大画用紙
- ・試験時間: 3時間
- ・モチーフに触れてはならない
- ・イーゼルの位置は他の受験生の邪魔にならない範囲で動かしてもよい
- ・用紙は縦横自由

■ 問題

設定されたモチーフを素描として表現せよ。

■ 小論文試験 (配点200点)

課題文を読んで自分の考えを800字以内の小論文にまとめるもの(90分)

モチーフ



■ 出題の狙い

床に置かれたワインの瓶と煉瓦、その間を埋める様にトイレットペーパーを配置しています。複数の質の異なるものが、床に置かれているという状態を、構図や、物の配置から素描として表現するか。

参考作品



ほぼモチーフの全体を構図しています。炭がついていないところも美しく、床の広がりを感じさせます。

デザイン専攻

Art and Design (Major in Design)



■ 鉛筆画 (配点100点)

・画用紙(38cm×54cm) ・縦横自由 ・試験時間: 3時間

■ 問題

2つのモチーフ(ペットボトル・ロールペーパー)を自由に組み合わせで描きなさい。

■ 面接

■ 持ち込み作品3点 (配点100点)

条件: 彩色された作品を1点以上含む。試験当日、本人が持参可能な大きさ(3辺の和が210cm以内)とします。持参不能の場合はポートフォリオでも可。デジタルデータは不可。また、持参作品は自らの責任で当日、搬入・搬出してください。

モチーフ



■ 出題の狙い

紙質で覆われたロールペーパーの表現と、ペットボトルのプラスチックの透明感及び構造物としての形態を正確に表現した作品を期待しました。

参考作品



ロールペーパーの円柱形を感じさせる包装紙のシワや陰影をしっかりと捉えて表現し、ペットボトルの透明部分と印刷部分の質感の違いを上手く表現した作品です。

■ 鉛筆構成デッサン (配点400点)

・画用紙(38cm×54cm) ・横位置 ・試験時間: 5時間

■ 問題

与えられたモチーフ(手袋・水差し)を使用して自由な発想で、想像上の空間に構成し、描きなさい。

- ・用紙は横位置で使用すること。
- ・想像上の空間にモチーフを構成しなさい。
- ・モチーフは開封及び中身を自由にして構いません。
- ・モチーフは同じものを何個描いても構いません
- ・モチーフの部分を抽出して描いても構いません。
- ・モチーフ以外のものを加えてはいけません。

モチーフ



■ 出題の狙い

どちらも、白色でありながら質感が違うモチーフとなっています。淡い色に惑わされることなくしっかりとした立体感と質感表現を期待しました。

参考作品



手袋と水差しの質感の表現の描き分けができています。ハッチングによる立体感も秀逸です。

参考作品



水差しのパースに若干の狂いがありますが、丁寧に質感を表現しています。大胆な構図も成功しています。

参考作品



水差しの全体が表現されていないことや手袋の質感が表現されていないのが少し残念ですが、手袋がダンスを踊っているような大胆な発想が目を引きます。

■ 筆記試験 (配点200点)

実技試験とは別に国語・英語の筆記試験があります。(各100点)

■ 鉛筆画 (配点200点)

・画用紙(38cm×54cm) ・縦横自由 ・試験時間: 3時間

■ 問題

与えられたモチーフ(コーヒーサーバー)を正確に描きなさい。

モチーフ



■ 出題の狙い

上部から底部に向かって広がる美しいボトルのプロポーションの理解や、ボトルと蓋との比率の把握、ガラスとプラスチックの素材の質感表現などを作品に期待しました。

参考作品



作品はガラスの質感の表現が少し不足していますが、ボトルのプロポーションと、蓋の比率が共に比較的正確に描かれています。構図も安定感があります。

■ デッサン (配点100点)

・画用紙 (38cm×54cm) ・横位置 ・試験時間: 3時間

問題

与えられたモチーフを組み合わせて描きなさい。
・用紙は横位置で使用してください。
・グレーの台紙はモチーフではないので描く必要はありません。
・鉛筆、消しゴム (または練りゴム) 以外は使用しないこと。
・A4の用紙はエスキースや削りカス入れに使用してください。
・自分の作品を確認するために、その場で立って見ることは構いませんが、自分の席から離れることはできません。

■ 面接

■ 持ち込み作品3点 (配点100点)

条件: 彩色された作品を1点以上含む。
試験当日、本人が持参可能な大きさ (3辺の和が240cm以内) とします。
持参不能の場合はポートフォリオでも可。
記録メディアだけの提出は不可。
また、持参作品は自らの責任で当日、搬入・搬出してください。

モチーフ



参考作品



出題の狙い

スプレーボトル上部の複雑な形態と下部の透明部分のプラスチックの質感表現及び、布製のスリッパの柔らかな材質や空間感などを正確に表現した作品を期待しました。

スプレーボトルの構造をしっかりと把握して描写しています。黒と透明のプラスチックの光と反射をよく観察して質感を表現し、スリッパの量感も上手く表現した作品です。

■ 構成デッサン (配点400点)

・画用紙 (38cm×54cm) ・横位置 ・試験時間: 5時間

問題

与えられたモチーフを使用して自由な発想で、想像上の空間に構成し、描きなさい。
・用紙は横位置で使用してください。
・グレーの台紙はモチーフではないので描く必要はありません。
・モチーフは開封および中身を自由にしても構いません。
・モチーフは同じものを何個描いても構いません。
・モチーフの部分を抽出して描いても構いません。
・モチーフ以外のものを加えてはいけません。
・鉛筆、消しゴム (または練りゴム) 以外は使用しないこと。
・A4の用紙はエスキースや削りカス入れに使用してください。
・自分の作品を確認するために、その場で立って見ることは構いませんが、自分の席から離れることはできません。

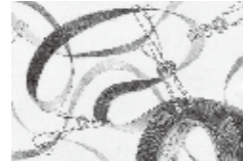
■ 筆記試験 (配点200点)

実技試験とは別に国語・英語の筆記試験があります。 (各100点)

モチーフ



参考作品1



参考作品2



参考作品3



出題の狙い

今年度のモチーフは金属光沢のクリップと布テープの毛羽立った質感の書き分けを期待しました。どちらも立体感を出すことが難しいモチーフです。

クリップと布テープの質感の書き分けもよくできており、立体感も感じられる秀逸な作品となっています。

質感の観察は良くできていますが、質感を追いすぎることによって立体感が少し損なわれていますが大胆な構成によって力強い作品に仕上がっています。

白から黒に至る明度階調を利用した色面構成をコンセプトに据えたダイナミックな作品です。モチーフの書き分けよりも構成に的を絞った明快な作品に仕上がっています。

■ デッサン (配点200点)

・画用紙 (38cm×54cm) ・横位置 ・試験時間: 3時間

問題

与えられたモチーフを正確に描きなさい。
・用紙は横位置で使用してください。
・グレーの台紙はモチーフではないので描く必要はありません。
・鉛筆、消しゴム (または練りゴム) 以外は使用しないこと。
・A4の用紙はエスキースや削りカス入れに使用してください。
・自分の作品を確認するために、その場で立って見ることは構いませんが、自分の席から離れることはできません。

■ 小論文試験 (配点200点)

課題文を読んで自分の考えを800字以内の小論文にまとめるもの (90分)

モチーフ



参考作品



出題の狙い

これは「これはおいしい水です」ということを見ただけでわかるように追及したデザインの傑作です。なぜ、おいしい水、美しいボトルに見えるか観察することがスタートです。

ボトルにもっと光る部分があるとより透明な水の美しさを表現できたのですが、有機的な造形によって生まれるレンズ効果が生むさまざまな表情と雰囲気は上手に描けています。

■ デッサン (配点100点)

・画用紙 (38cm×54cm) ・横位置 ・試験時間: 3時間

問題

与えられたモチーフを組み合わせて描きなさい。
・用紙は横位置で使用してください。
・グレーの台紙はモチーフではないので描く必要はありません。
・鉛筆、消しゴム (または練りゴム) 以外は使用しないこと。
・A4の用紙は構図の検討や削りカス入れに使用してください。
・自分の作品を確認するために、その場で立って見ることは構いませんが、自分の席から離れることはできません。

■ 面接

■ 持ち込み作品3点 (配点100点)

条件: 彩色された作品を1点以上含む。
試験当日、本人が持参可能な大きさ (3辺の和が240cm以内) とします。
持参不能の場合はポートフォリオでも可。
記録メディアだけの提出は不可。
また、持参作品は自らの責任で当日、搬入・搬出してください。

モチーフ



参考作品



出題の狙い

今年度のモチーフの特色としては、光沢のある白い箱と、柔らかい布という相反する材質感を持っていることが挙げられます。この相反する材質感の書き分けと、白と中間色の茶色、いわゆる生成りの色の表現を光沢のあるなしを伴ってどのように表現するかということが重要になってきます。

奇をてらった構図にせず、オーソドックスなモチーフの配置となっておりますが、フラットな床面にモチーフがきちんと存在している空間感が秀逸です。材質感の布の柔らかさのわかるような描きこみが欲しかった気もしますが質感・色・パースの3つが高いレベルにある優秀な作品です。

■ 構成デッサン (配点400点)

・画用紙 (38cm×54cm) ・横位置 ・試験時間: 5時間

問題

与えられたモチーフを使用して自由な発想で、想像上の空間に構成し、描きなさい。
・用紙は横位置で使用してください。
・モチーフは同じものを何個描いても構いません。
・モチーフの部分を抽出して描いても構いません。
・モチーフ以外のものを加えてはいけません。
・鉛筆、消しゴム (または練りゴム) 以外は使用しないこと。
・A4の用紙は構図の検討や削りカス入れに使用してください。
・自分の作品を確認するために、その場で立って見ることは構いませんが、自分の席から離れることはできません。

■ 筆記試験 (配点200点)

実技試験とは別に国語・英語の筆記試験があります。 (各100点)

モチーフ



参考作品1



参考作品2



参考作品3



出題の狙い

シンプルなプラスチック製の蓋つきバケツと、タオル地の雑巾の組み合わせです。正確な形態の把握とともに立体感や質感の表現、さらにモチーフ同士の関連性から発想した大胆な構成を期待しました。

雑巾の絞るように変形させた形状や、バケツの淵に掛けられた様子から、ストーリーが連想されます。また雑巾の柔らかい質感が表現できています。

楕円に若干の歪みがありますが、バケツのツヤ消しの面とツヤありの面の表情や、シャープな角と丸みのある角の対比がよく再現されています。

バケツから雑巾が飛び出す大胆な構成が目を引きます。バケツの形態が比較的正確に描かれており、各要素が細部にわたり丁寧に表現されています。

■ デッサン (配点200点)

・画用紙 (38cm×54cm) ・横位置 ・試験時間: 3時間

問題

与えられたモチーフを正確に描きなさい。
・用紙は横位置で使用してください。
・グレーの台紙はモチーフではないので描く必要はありません。
・鉛筆、消しゴム (または練りゴム) 以外は使用しないこと。
・A4の用紙は構図の検討や削りカス入れに使用してください。
・自分の作品を確認するために、その場で立って見ることは構いませんが、自分の席から離れることはできません。

■ 小論文試験 (配点200点)

課題文を読んで自分の考えを800字以内の小論文にまとめるもの (90分)

モチーフ



参考作品



出題の狙い

ガラス・金属・プラスチックといった素材の違いや、鏡光沢・半光沢などの質感の書き分けがポイントです。また工業製品の正確な形の描写、本体と蓋の組み合わせによる空間表現に期待しました。

質感がよく表現され、工業製品としての形も正確に描けています。そのため蓋の取っ手も宙に浮くことなくガラス面を感じさせる描写となり、また本体と蓋の間の空間表現にもつながっています。